

市野新田ダムだより 22号



株式会社フジタ 東京支店
市野新田ダム作業所
電話 0257-29-2861

平成28年 2月 新年号



新年のご挨拶



(株)フジタ
市野新田ダム作業所
所長 坂元 孝一

鶴川地区の皆様、新年明けましておめでとうございます。
市野新田ダムの工事が始まって4回目の冬を迎えています。

今年の冬は雪の量が少なく、昨年同時期に160cm積もっていたことを考えると5分の1程度ということになっており、現場を進めるに際しては、非常に運がよかったと感じています。実際、12月中旬まで通常通り作業を進めることが出来ました。今シーズンはこれ以上降らないでいてくれると、現場とすればありがたいですが、年間降水量はあまり変動しないということになると、夏場に雨が多くなかったため、これから雪がたくさん降るのではないかと恐れ慄いているところです。いずれにせよ、雪かきの回数が少なくなることを祈るばかりです。

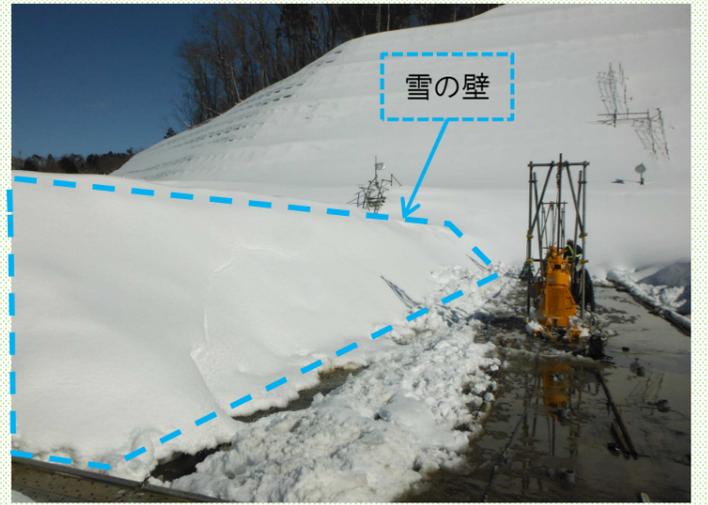
市野新田ダムの状況について簡単にお話します。

去年は、4月末に石橋川の流れを仮排水路トンネルに転流し元々の河床部分を掘り下げました。その後、ダム本体のうち、水を止める部分の地下に向かって孔を掘りセメントを水で溶いたセメントミルクを注入して岩盤の亀裂を埋める作業を行っています。この作業については、冬の間も行っています。また、将来、ダムに溜まる水が余剰となったときに、その水を越流させて流すためのコンクリート水路を7月ごろから造っております。それと、ダムを盛り立てるための材料の運搬を行いました。平成28年については、昨年同様の工事を進めると共に、いよいよダム本体の盛り立てを行います。見学会等の際には、ぜひ足を運んでいただければと思います。なお、ダンプトラック、生コン車についてはこれまで同様、地区内の道路を運行させていただきます。皆様方にはご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

最後に、本年もこの鶴川地区が平穏で皆様が健康に恵まれますように祈念し、簡単ですが、新年のご挨拶とさせていただきます。

現場の様子

先月末の寒波で、現場もすっかり雪化粧しました(写真左)。現場の作業場所では雪の壁を築造し、風雪対策をとっています(写真右)。実際風の強い日に作業場所に立ってみると、風に吹かれた粉雪が壁の上を通り越していき、作業場所への強風をブロックできていました。作業員からも好評です。寒く過酷な状況下での作業が続いていきますが、職員全員の知恵を絞って冬を乗り越えていきます。



1月9日 鶴川地区新年会



今年も地区のみなさんとの新年会に当作業所から相良、坂元の2名が参加させて頂きました。たくさんの方にお会いし、貴重なお話も伺いました。

1月15日 上野地区さいの神



素晴らしい晴天の中、職員も参加してさいの神作りをお手伝いしました。皆さんと炎が燃え上がるのを見ながら無病息災を祈りました。

皆様、明けましておめでとうございます。今年は雪の少ない穏やかな正月を迎えられましたね。しかし小正月辺りから徐々に積雪も増えてきました。先日の「数十年に1度の寒波」では沖縄にも初めて降雪を観測したとニュースになり、初めての雪で子供達はしゃんでいる画像がテレビで流れていました。暖冬の年に沖縄で降雪を観測するなんて、驚いてしまいます。現場では1月15日に、職員さんのお昼にこんな食事が用意されました。小正月という事で、昆布巻きや黒豆、お赤飯、お雑煮等、地元のお正月料理が並びました。これを食べて、今年もまた、一年無事故で作業に励みます。今年もどうぞ宜しく御願致します。

